

第111総会

2023年（令和5年）度

自2022年12月1日 至2023年11月30日

2022年度 事業活動中間報告

2023年度 事業活動計画（案）

2023年度 会計収支予算（案）



開催日：2022年11月26日（土）

開催会場：聖アンデレ主教座聖堂

東京都港区芝公園 3-6-18

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会

第 111 総会次第

2022 年 11 月 26 日（土）記念礼拝後
港区芝公園 3-6-18 聖アンデレ主教座聖堂

司会進行：（ 永井信行 理事）

I. 開会祈祷： 本部チャプレン 下条裕章司祭

II. 総会成立定数の確認： 事務局 木島出

III. 会長開会挨拶： 会長 足立征三郎

IV. 議長選出： 定款第 16 条により「総会の議長は会長がこれにあたる」

V. 書記任命： （ 野田徹 理事 ）

VI. 議事録署名人の任命 （ 吉松英美 理事・松田正人 理事 ）

VII. 報告事項 （ 副会長：木島出 ）

1. 2022 年度（2021.12.1.～2022.11.30）事業活動（中間）報告

VIII. 議事

第 1 号議案：2023 年度（2022.12.1～2023.11.30）事業活動計画（案）

承認の件

（ 木島出 副会長 ）

第 2 号議案：2023 年度（2022.12.1.～2023.11.30）会計収支予算（案）

承認の件

（ 尾崎茂雄 副会長 ）

その他

IX. 閉会祈祷： 本部チャプレン 下条裕章司祭

1 報告

2022 年度事業活動中間報告（案）

自：2021 年 12 月 1 日 至：2022 年 11 月 30 日

響きあう BSA のために

2022 年度事業活動状況は、2020・2021 年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な活動休止となった。

こうした状況下、2021 年度に長らく発行が途絶えていた信徒叢書を 14 年ぶりに発行出来、2022 年度も引き続き新たな信徒叢書を発行出来ました、嬉しいかぎりです。

また、秋（10/8）には BSA セミナーが開催された。2020 年 10 月、日本聖公会第 65 総会において「日本聖公会法規の一部改正する件」（宣教協働区伝道教区 決議第 11 号）が可決され、11 教区を 3 つの宣教協働区に分け協働関係を深めていくことになった。宣教体制の立て直し、教区の統合や再編が主教会に託された。BSA はそのことへの理解を深めるため、全国的な規模で「BSA セミナー」を ZOOM 方式により開催することが出来た。

その他の事業活動計画については、これまでに実施したものを報告します。

＊（見出しのローマ数字は、2022 年度事業活動計画 に対応している。）

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動：

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」発刊

- ・第 22 巻「聖公会 はじめの一步」 司祭市原信太郎著
- ・発刊準備中

西原廉太主教：「キリスト教と科学」（仮）（2022 年度の発行を延期）

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

2022 年度発行

VISION	177 号	2022 年	2 月発行	巻頭言	バルナバ	田澤利之司祭
VISION	178 号	2022 年	4 月発行	巻頭言	ステパノ	越山哲也司祭
VISION	179 号	2022 年	7 月発行	巻頭言	マリア・グレイス	笹森田鶴主教
VISION	180 号	2022 年	11 月発行	巻頭言	マルコ	柴本孝夫司祭

◇編集方針

- 1 会員からの寄稿を増やし、参加感を高める努力をした。
具体的には、信仰や礼拝について日頃思っていること、会員として実践していること、コロナで仕事や生活はどう変わったか、BSA 本部への要望など、身近なことを通じて「会員の VISION」づくりに努力した。
- 2 理事会をはじめ BSA の諸活動を伝える情報を増やし、紙面の充実を図った。
- 3 連載物「シリーズ①～⑥宣教協働区・伝道教区制」を掲載した。

4. BSA 案内パンフレット 配布

・BSA への理解・会員勧誘に活用する改訂版「パンフレット」発行（2022.10.）

5. ホームページの充実 <http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>

「nssk bsa」検索で閲覧することが出来る。

・掲載内容： BSA の歴史・組織概要・役員・支部一覧・活動
信徒叢書一覧・セミナー案内・会員ハンドブック・直近 VISION
総会資料（報告、事業活動計画、会計収支予算）

6. BSA セミナー

開催日：10月8日（土）13時からズーム方式で実施した。

参加申込：73件、当日は68人が聴講した。

三光教会、インマヌエル新生教会、横浜聖アンデレ教会、清里聖アン
デレ教会、久留米聖公会では、教会に集まって聴講した。

参加者のうち、およそ三分の一が BSA 会員外であった。

テーマ：「教えて！教区はどうなるの？」。

教区再編成計画が進む中で、「自分たちの教区・教会はどうなるのか」
という素朴な疑問に答えることを企図した。

講師：管区総主事 エッセイ矢萩新一司祭。

申込者には、事前にレジュメを送付して理解に資するようにした。

・今年のセミナーは、2019年以來3年ぶりの開催で、ZOOM方式を初めて採用。
1週間前の同じ時間帯にリハーサルを行い、万全を期した。

・主たるホスト会場は、管区事務所会議室を使用し、BSA本部事務所を電話対
応として用意。足立会長は、本部から挨拶した。

・矢萩総主事は、年表や写真など各種のデータを駆使し、質問にも親切に答えるな
ど、およそ一時間半の講演は好評であった。

II. 教育事業：

1. BSA 青少年キャンプ (開催休止)
3. BSA 研修ツアー (開催休止)

III. 社会事業：

3. 公益財団法人KEEP協会と協働した活動

◇ 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP協会と協働して活動。

・コロナ禍の中にあって大きな誤算が生じたキープ協会の収益事業を、機関紙
VISIONなどを活用し、広くキープ協会の働きを広報して、特に清泉寮を中心
とする各施設の利用を推奨する。

・ジャージ牛ファンクラブに法人会員として入会

IV. その他事業：

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

コロナ禍の中、環境が整わず、支部との十分な一体化の活動が出来なかった。

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携強化に努力した。

- ・1 年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行した。
- ・支部に属さない会員への対応を考え、実施した。

34	BSA 本部だより	2/14	12・1・2月号
35	BSA 本部だより	3/7	2月（第110総会）号
36	BSA 本部だより	6/6	4・5月号
37	BSA 本部だより	7/15	6月号
38	BSA 本部だより	8/22	7月号

(2) 支部長会議（未開催）

(3) 支部との懇談会の実施（未開催）

4. 特別委員会

- ・BSA の課題を精査整理し、検討・協議。協議された内容は理事会に報告。
- ・2020 年 1 月以来 21 ヶ月中断を経て、2021 年 10 月に再開、9 回の委員会を開催し、BSA の取り組む課題の整理、絞り込み、具体的な精査・検討を行った。2022 年 11 月をもって委員会の任期を終え、理事会に対し検討結果を答申し、理事会はそれを引き継ぐこととした。

5. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進めている。
- ・アーカイブズ 基礎資料の収集（写真・音声・印刷物など）

V. 総会、役員会

1. 総会

① 第 110 決算定時総会 2022 年 2 月 26 日（土） 於：東京教区会館 3 階

報告： ①2021 年度（2020.12.1.～2021.11.30.）事業報告

議案： ①2021 年度（2020.12.1.～2021.11.30.）会計収支決算・剰余金処分（案）決議

②役員任期満了に伴い新たに役員（理事 14 名・監事 2 名）選任の件

選任された理事・監事（50 音順）

理事：足立征三郎・尾崎茂雄・木島出・倉辻明男・桑田秋光・

後藤務・島崎敏彦・永井信行・野田徹・萩谷長生・松田正人

第1号議案

2023年度事業活動計画（案）

自：2022年12月1日 至：2023年11月30日

響きあう BSA のために

BSA の裾野を広げ、BSA の“顕在化”を図る

BSA の基本理念は「祈祷と奉仕」「一人が一人を」であり、米国拡張を目指すことに変わりなく、教会の働きの中で、会員一人ひとりが奉仕する集まりが土台となる。

BSA 活動の広がりと今後の発展を図るため、会員外の方々に参加を呼びかけ、BSA を身近に感じ、馴染んでいただく努力をする。教会に連なる一人となって、点から線、そして面に拡げていきたい。

BSA 創立100周年までに 聖公会のすべての聖職・信徒への働きかけを強化し、BSA の“顕在化”を図る。BSA と聞けば、それが何であるのかを分かってもらえるようにしたい。

会員一人一人を大事にする運営

理事会等の動きを「本部だより」として支部長を通して会員に伝える仕組みは出来ている。本部と会員との回路が太くなり、そのことが BSA の一体感につながることを期待している。問題は、支部に属していない一般会員との一体感をどう高めるかである。会員あつての BSA であることを忘れてはならない。

BSA 創立 100 周年への取り組み 「気になる BSA」 を目指す

個別具体的な活動は、出来るだけ各年度の通常の事業活動計画の中で実施する。それによって限られたマンパワーを有効に活用する。また、この機会に既存の事業活動のスクラップ&ビルドを行い、事業活動の効率化と活性化を図る。

BSA が直面する課題にしっかり向き合い、100周年を迎える 2027年には、北から南までお互いの活動が「響きあう BSA」、周囲から見れば最近の BSA はこれまでと違って、「何か気になることをしている」といわれる BSA を目指す。

2023年度は、これらを基本コンセプトとして、以下のような諸活動を展開していく。

I. キリスト教精神を世に広げる周知・広報活動

- ① ボランティア活動（会員一人ひとりの日常活動及び支部活動）
- ② 機関紙「VISION」、「BSA 信徒叢書」その他出版物の配布

1. 伝道用小冊子「BSA 信徒叢書」

- ・執筆依頼中の 表題 (2023 年度の発行予定)
西原廉太主教 :「キリスト教と科学」(仮)
- ・新刊候補の発掘 (2023 年度に 2 刊発行予定)

2. 機関紙 VISION

機関紙 [VISION] の充実

機関紙「VISION」は BSA の方針や活動を会員および内外に周知し、会員との一体感を醸成するとともに、広く世間に BSA の存在を知ってもらうことを主たる目的とする。

◇発行計画

VISION	181 号	2023 年	1 月発行予定
VISION	182 号	2023 年	4 月発行予定
VISION	183 号	2023 年	7 月発行予定
VISION	184 号	2023 年	10 月発行予定

◇発行部数・形態

年間 4 回発行。タブロイド版 (4~6 頁) を各回 2 千部発行。

◇編集方針

- 1 会員からの寄稿を増やし、参加感を高める努力をする。
具体的には、信仰や礼拝について日頃思っていること、会員として実践していること、コロナで仕事や生活はどう変わったか、BSA 本部への要望など、身近なことを通じて「会員の VISION」づくりに努力する。
- 2 理事会をはじめ BSA の諸活動を伝える情報を増やし、紙面の充実を図る。
- 3 連載物を開拓して、安定した紙面作りを目指す。

3. BSA 案内パンフレット 改訂版、配布活用

- ・BSA の紹介・会員として活動仲間呼びかけ。
- ・主教会、各教区へ BSA アピールに活用

4. ホームページの充実 <http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>

「nssk bsa」検索で閲覧することが可能。

- ・掲載内容： BSA の歴史・組織概要・役員・支部一覧・活動
信徒叢書一覧・セミナー案内・会員ハンドブック・直近 VISION
総会資料 (報告、事業活動計画、会計収支予算)

5. BSA セミナー

- ・BSA らしさを「テーマ」として取り上げていく

提案趣旨

フランスのオルセー美術館には、ミレーの代表作「晩鐘」がある。まだ若い農夫とその妻が、収穫したじゃがいものかごを前に置き、鋤を畑に立てたまま、夕陽の中で祈りを捧げている。

祈りは信仰のアルファであり、オメガであるという。礼拝時のみならず、食事の時、悲しみの時、会合を始める時、眠りにつく時等、さまざまな時と場所において、

わたしたちは祈る。わたしたちは祈りに何を託しているのか。
テゼの音楽を聴き、歌いながら、「祈り」について考える。

実施時期： 未定（2023年5月の土曜日）

会場： 未定

テーマ： テゼの歌と「祈り」

講師： 植松功兄（聖マーガレット教会・BSA会員）

主催： 一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会（BSA）

後援： 日本聖公会

参加者：

広報： 機関紙『VISION』、BSA ホームページ、『管区事務所だより』、東京・横浜・北関東各教区の教区時報、各教会宛のチラシ。

- II. 教育事業： ① キリスト教精神をベースとしたリーダーシップを持つ社会に有為な青少年の育成。
② 研修・交流ツアー等 成人のための啓発事業
③ 神学生教育の充実に資する

1. BSA 青少年キャンプ

◇ 開催地を清泉寮とした「こども・青少年キャンプ」へ、KEEP 協会、関連諸団体と協働・支援。

・BSA 企画「青少年キャンプ」開催

・3/27日（月）～29（水）「青少年キャンプ」（第6回）

企画内容：キリスト教精神に基づいて、BSA オリジナル・プログラムである指導者訓練キャンプをキープ協会と共催で開催する。

目的：BSA の祈禱と奉仕の精神をもとに、自然体験と共同生活を通して、こどもたちの感性と自主性、自然と人間の関わり、他者への思いやり、生きる力を育てることを目的とする。

共催：日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)・キープ協会(KEEP)

後援：日本聖公会

会場：公益財団法人キープ協会 自然学校

参加者：20名（BSA スタッフ7名・KEEP スタッフ7名）

2. 立教大学 BSA 第8支部 との関係を継続し、深める

3. BSA 研修ツアー

史跡めぐり・巡礼・教会訪問・祈り・学び・親睦を目的として年1回開催する。

- III. 社会事業： ① 困難な状況にある人々を支援・救済するボランティア活動やチャリティー・コンサート、講演会等の開催
② 公益財団法人キープ協会との協働、

1. 災害発生時、被災者へ復興支援活動

- ・災害被災者支援のため。地震・噴火・台風・豪雨等による大災害に対し、その被災状況に応じて支援活動を行う。

2. ボランティア活動 支部活動として、また各個会員により実施する。

3. KEEP 協会と協働した活動

- ◇ 行事・諸活動の企画・実施に当たり、KEEP 協会と協働して活動。
 - ・青少年キャンプ（教育事業）を共催で開催する。
 - ・コロナ禍の中にあつて大きな誤算が生じたキープ協会の収益事業を、機関紙 VISION などを活用し、広くキープ協会の働きを広報して、特に清泉寮を中心とする各施設の利用を推奨する。

IV. その他事業： BSA の目的を達成するため必要な事業

1. 支部との関係強化による一体感の醸成

(1) 「BSA 本部だより」の発行

支部と本部は車の両輪である。2016 年度から始めた「BSA 本部だより」の充実を図り、情報の共有を通じて、支部と本部の意思の疎通と連携を強化していく。

- ・1 年を通じ 理事会の様子などを中心に、必要に応じて発行する。
- ・支部に属さない会員への対応を考え、実施する。

(2) 支部長会議

本部活動概要報告、支部活動報告、支部の抱える諸課題、本部への要望等を話し合い、分かち合い、理事会へ意見具申する。

2. 支部活動の活動支援

- ・支部からの企画提案を受ける。
- ・理事会は、支部体制の確立に向け検討、支援を行う。
- ・休止している支部の活性化にたいし支援体制模索
- ・本部役員と支部会員との懇談会を継続実施。

3. 支部の増設ならびに会員増強活動

- ・BSA の裾野を広げる活動を会員以外の人たちへ広げる。
- ・BSA の認知度を高める。
- ・BSA 事業の協力者を広め、活動の賛同者を得るよう努める。
- ・BSA 空白教区へ積極的にアプローチ。

4. BSA 創立 100 周年への取り組み

- ・第 105 総会で案内した「創立 100 周年記念事業基本構想」に基づき、2027 年を目指して第 1 期・第 2 期事業に掲げた諸事業に着手し、「気になる BSA」の考え方を確認し、進める。

- ・「BSA 創立 100 周年プロジェクト」活動、理事会へ提言
- ・アーカイブズ 基礎資料の収集（写真・音声・印刷物など）

5. 「宣教協議会」開催を、BSA の活動を全国的にアピールする機会ととらえる。

- ・ 2023 年 11 月 10 日（金）～13 日（月） 開催地：清里・清泉寮

V. 総会、役員会

1. 総会

- ① 第 112 決算定時総会 2023 年 2 月 25 日（土）予定 於：東京教区会館 3 階
報告： ①2022 年度（2021.12.1.～2022.11.30.）事業活動報告
議案： ①2022 年度（2021.12.1.～2022.11.30.）会計収支決算（案）・剰余金
処分（案）承認の件

- ② 第 113 総会 2023 年 11 月 25 日（土） 於：未定
議案： ①2024 年度（2023.12.1.～2024.11.30.）事業活動計画(案) 決議
②2024.年度（2023.12.1.～2024.11.30.）会計収支予算(案) 決議

- 2. 理事会 毎月定例に開催

- 3. 評議員会 総会開催時に開催

以上

2023年度BSA名誉役員及び役員並びに幹部

2022.11.4.現在

名誉会長： 日本聖公会首座主教・九州教区 武藤謙一主教

名誉副会長： 日本聖公会各教区主教

北海道教区	笹森田鶴主教	東北教区	吉田雅人主教
北関東教区	管理・高橋宏幸主教	東京教区	高橋宏幸主教
横浜教区	入江 修主教	中部教区	西原廉太主教
京都教区	高地 敬主教	大阪教区	磯 晴久主教
神戸教区	小林尚明主教	沖縄教区	上原榮正主教

名誉チャプレン： 武藤六治主教

本部チャプレン： 高橋宏幸主教、下条裕章司祭、

支部チャプレン： 盛岡支部 越山哲也司祭 聖ルカ礼拝堂支部（休会中） 上田憲明司祭

東京聖三一教会支部	菅原裕治司祭	聖マルコ教会支部	高橋宏幸主教
イマヌエル新生教会支部	卓 志雄司祭	神田支部	井口 諭司祭
南町田支部	鈴木裕二司祭	横浜支部	渡部明央司祭
藤沢支部（休会中）	松田 浩司祭	湘北支部	片山 謙司祭
平塚聖マリヤ教会支部	島田征吾司祭	林間支部	片山 謙司祭
房総支部	田澤利之司祭	北総支部	宮崎 仁司祭
清里支部	小林祐二司祭	福岡支部	柴本孝夫司祭

顧問： 瀬川義夫、黒田哲朗、倉石昇、

会長： 足立征三郎

副会長： 尾崎茂雄、木島出

理事： 永井信行、後藤 務、萩谷長生、桑田秋光、吉松英美、野田徹、島崎敏彦、
松平謙次、湯田啓一、松田正人、倉辻明男、

監事： 早川 潔、永井惇、

本部： 足立征三郎、木島 出、倉辻明男、

評議員： 19名（内支部長評議員10名・空席支部2名）

（支部長） 赤坂徹、川村啓三、金澤一央、早野勝徳、渡辺多茂夫、小室喜雄、
高橋恵太郎、池田稔、岩間光雄、酒井健、

（評議員） 国見登、戸川達男、松岡正治、高橋保、諫山禎一郎、小出康之、湯田正範、
田島利男、高瀬祐二、

【支 部】

盛岡支部 4名

聖ルカ礼拝堂支部（休会中） 2名

チャプレン：越山哲也司祭 支 部 長：赤坂 徹 東京聖三一教会支部 12名 チャプレン：菅原裕治司祭 支 部 長：川村啓三 インマヌエル新生教会支部 4名 チャプレン：卓 志雄司祭 支 部 長：空 席 南町田 支部 10名 チャプレン：鈴木裕二司祭 支 部 長：松田正人 藤 沢 支 部（休会中） 7名 チャプレン：松田 浩司祭 支 部 長：渡辺多茂夫 湘 北 支 部 3名 チャプレン：片山 謙司祭 支 部 長：高橋恵太郎 房 総 支 部 20名 チャプレン：田澤利之司祭 支 部 長：池田 稔 清 里 支 部 8名 チャプレン：小林祐二司祭 支 部 長：野田 徹	チャプレン：上田憲明司祭 支 部 長：早川 潔 東京聖マルコ教会支部 3名 チャプレン：高橋宏幸主教 支 部 長：島崎敏彦 神 田 支 部 4名 チャプレン：井口 諭司祭 支 部 長：金澤一央 横 浜 支 部 18名 チャプレン：渡部明央司祭 支 部 長：早野勝徳 平塚聖マリヤ教会支部 15名 チャプレン：島田征吾司祭 支 部 長：小室喜雄 林 間 支 部 4名 チャプレン：片山 謙司祭 支 部 長：空 席 北 総 支 部 14名 チャプレン：宮崎 仁司祭 支 部 長：岩間光雄 福 岡 支 部 8名 チャプレン：柴本孝夫司祭 支 部 長：酒井 健
---	--

【会 員】

(2022年11月4日現在)

聖職会員名誉会員総数	76名
名誉会長・副会長：	11名
名誉チャプレン：	1名
本部チャプレン：	1名
支部チャプレン：	14名
聖職会員：	46名
正 会 員：	177名
支部会員：	136名
個人会員：	41名
賛助会員：	75名

登録会員 328名
(うち年会費登録会員 253名)

新入会員

2022.04.21.	賛助	カタリナ	ヤマコシ イツコ 山越伊都子		聖アンデレ教会	一般会員
2022.10.08.	賛助	テレサ	ユダ アキコ 湯田秋子		柏聖アンデレ教会	北総支部

† 物故会員

2021.12.13.	賛助	モニカ	ウチダ サトコ 内田郷子	93歳	月島聖公会	聖ルカ礼拝堂支部
2022.01.26.	賛助	アグネス	アサミ クニキ 浅見国貴	76歳	聖マルコ教会	聖マルコ教会支部
2022.02.09.	主教	ダビデ	タニ ショウジ 谷 昌二	90歳	元沖縄教区主教	名誉副会長
2022.02.17.	正	アンデレ	カウ アキオ 加藤昭夫	89歳	盛岡聖公会	盛岡支部
2022.03.08.	主教	ヤコブ	ウノ トオル 宇野 徹	83歳	元大阪教区主教	名誉副会長
2022.04.14.	正	ヨハネ	オオハシ ヒロシ 大橋 寛	94歳	松戸聖パウロ教会	北総支部
2022.06.05.	正	フランシス	サイウ タカオ 斎藤高夫	80歳	盛岡聖公会	盛岡支部
2022.07.02.	正	エドワード	グドウ トシオ 工藤俊雄	95歳	インマヌエル新生教会	一般会員
2022.07.06.	正	グレゴリオ	オオヤマ ショウゾウ 大山省三	87歳	真光教会	南町田支部
2022.07.20.	正	ミカエル	タナカ ナルユキ 田中成幸	83歳	立教学院諸聖徒礼拝堂	一般会員
2022.08.02.	正	ヨハネ	マスオカ タカオ 増岡堯夫	86歳	真光教会	南松田支部
2022.08.30.	正	ヨハネ	マツダ ヨシオ 松田義夫	92歳	聖三一教会	聖三一教会支部
2022.08.30.	主教	ヨハネ	フルモト ジュンイチロウ 古本純一郎	86歳	元神戸教区主教	名誉副会長
2022.10.04.	司祭	アンデレ	サトウ トオル 佐藤 徹	88歳	京都教区退職司祭	聖職会員
2022.10.21.	正	サムエル	アマノ キミナリ 天野公成	62歳	インマヌエル新生教会	支部長・評議員
2022.08.17.	正	ジャスティン	オオハル ヒロヤ 大春博也	91歳	浦和諸聖徒教会	一般会員

† 主よ、世を去った兄弟姉妹の魂が、主の憐れみによって安らかに憩うことが出来ますように。 アーメン